

大阪市立大学の研究者の世界

ACADEMIC CAFE

2019 11.7 Thu
15:15~17:00

申込
不要

場所: 大阪市立大学杉本キャンパス
学術情報総合センター10階 大会議室

歴史と現在、そして未来を拓く!

伝統社会と周縁の視点から見通す 「現代」・「日本」

— 育成事業と合同調査の実践から —



佐賀朝 教授
文学研究科 日本近代史



塚田孝 教授
文学研究科 日本近世史

現在、日本学術振興会の国際的な活躍が期待できる研究者の育成事業「周縁の社会集団と近代」(研究代表・塚田/事務局長・佐賀)による国際的な共同研究を推進しています。これは、文学研究科の21世紀COEプログラム以来の様々なプロジェクト研究の展開としての側面と、歴史研究を通して培われてきた国内外の研究者どうしの共同関係の発展という側面があります。これと並行して、日本史学教室では23年にわたって和泉市をフィールドに「地域の歴史的総合調査」を目標とした「(和泉市)合同調査」を実施してきました。この二つの取り組みはわたしたちの中では深く関連しあっています。今回は、この両事業の内容を具体的に紹介するとともに、そこから見通せる歴史研究上の論点や大学教育における意味についても触れたいと思います。

■ プログラム

- 15:15~ 開会の挨拶
櫻木 弘之 副学長
- 15:25~ 講演
佐賀朝 教授
- 15:55~ 講演
塚田孝 教授
- 16:25~ 質疑応答

NEXT ▶ 次回のアカデミックカフェ

テーマ: 同時性と現在

司会進行 橋本 文彦 副学長

話題1: 相対論における同時性と現在

理学研究科 中尾 憲一 教授

話題2: 形而上学における同時性と現在

文学研究科 佐金 武 准教授

日 時: 2020年1月27日(月) 16:00~17:45

All religions, arts and sciences are branches of the same tree. Albert Einstein

われわれは、すべてのものを包括する統一
的な知識を求めようとする熱望を、先祖代々
受け継いできました。学問の最高の殿堂に
与えられた総合大学 (university) の名
は、古代から幾世紀もの時代を通じて、綜
合的な姿こそ、十全の信頼を与えられるべき
唯一のものであったことを、われわれの心
に銘記させます。しかし、過ぎる100余年の
間に、学問の多種多様の分枝は、その広さ
においても、またその深さにおいてもますます
拡がり、われわれは奇妙な矛盾に直面す
るに至りました。われわれは、今までに知ら
れてきたことの総和を結び合わせて一つの
全一的なものにするに足る信頼できる素材
が、今ようやく獲得されはじめたばかりで
あることを、はっきりと感じます。ところが一
方では、ただ一人の人間の頭脳が、学問全
体の中の一つの小さな専門領域以上のもの
を十分に支配することは、ほとんど不可能
に近くなってしまったのです。

この矛盾を切り抜けるには (われわれの真
の目的が永久に失われてしまわないように
するためには)、われわれの中の誰かが、
諸々の事実や理論を総合する事に思い
きって手を着けるより他には道がないと思
います。

シュレーディンガー: 岡小天; 鎮目恭夫 訳
「生命とは何か—物理的にみた生細胞」

まえがきより抜粋

知の
SEEDS
大阪市立大学